

よつ葉の



クローバー

第12号
平成24年9月1日
発行 大船渡市仮設住宅
支援員 岡村 巨
澤上 理



不幸なハチ合わせにご用心

今年、仮設団地内でもハチの巣が発見され、その都度、駆除をしてきました。ハチ刺されによる死者は毎年、全国で20人善後にのぼります。とくにスズメバチは最も毒性が強く、ミツバチと違って対象物を何回刺しても自身が死ぬことはありません。木々の中や土の中、軒下など、どこにでも巣を作ります。エアコンの室外機や車のボンネットの中にも作ることも。洗濯物にスズメバチが紛れ込み、服を着た時に刺されたり、ジュースの缶に入れ込んで、口の中を刺されたりする事例もあります。

症状は体質で決まるので安易な判断は危険です

スズメバチの針は、もともと産卵管の一部が発達して出来たもので、両刃のこぎりのような形状をし哺乳類の筋肉に深く刺さるようになっていています。ハチ毒に対してアレルギー体質の人は、一刺しでショック症状(アナフィラキシーショック)に陥り、死に至る危険もあります。

慌てないことが肝心

スズメバチは巣に近づいてきた人をいきなり刺そうとはしません。ハチにとっても人と対するのは命がけです。そのため人が近づくと、見張り役の働きバチが大きなあごを使って「カチッカチッ」という警戒音を鳴らします。それと同時に、人のまわりをまわりつくように飛びますが、これも「巣にこれ以上近づいたら、刺すぞ」という合図です。

突然、周囲を旋回するスズメバチの姿を目にすると、とっさに手で振り払ったり体をひねってみたいと慌ててしまいますが、そうした人の動きがハチを刺激してしまいます。数匹のスズメバチが近づいて来たからといって慌てることなく、ゆっくりと後ずさりするようにその場から離れます。



将棋、オセロ入りました。
男性の方、是非どうぞ

<9月の予定>

6(木)・24(月) 10:00~12:00
〒郵便局

5(水)・12(水)・19(水) 10:00~12:00
ひだまり お茶っこ会

